

2020年8月4日



キリスト教センター 通信 Vol.11



激励メッセージリレー

タイトル 『 扇風機をどこに置く？ 』

大学オルガニスト 伊藤 純子 先生

暑いですね！家で扇風機の風を効率的に回すために、置き場所と向きを考えています。昔これをあちこち試しながら私のオルガンの師匠は、「オルガニストは『風つかい』よ。」と言っていたものです。確かにオルガンは風の楽器です。風が気持ちよく楽器や空間を飛び回るための方法を考えることは、演奏上不可欠です。

また、オルガニストは「弾く人」ではなく「聴く人」だと思っています。響きだけでなく、空間全体に耳を傾け、風に耳をすますことによって、楽器と対話します。演奏に行き詰まりを感じる時は大体、ガチガチの「弾く人」となっています。

実は「聴くこと」は、「しゃべること」よりも、ずっと前向きでクリエイティブなメリットがあり、新鮮な発見を与えてくれます。周りや自分自身に対して、「聴く」ために必要なことは、ただひたすら耳をすますことです。

選択や考え方に行き詰まったとき、助けてくれるのは、ふわりと耳をすますこと。自分の中に固まった思い込みを、勇気をもって思い切り手放せば、耳をすます準備完了です。

さあ、今日から耳をすまして、新しい扉を開きましょう！

キリスト教 一回だけ 「聖歌」

深く深呼吸して、思い込みをわきに置き、「きかせてください」と求める歌です。

耳をすまして聴こえてくるものを、素直にキャッチできるアンテナを磨きたいものです。

聖歌 363 番 第1節

- ♪ ガリラヤの風かおる丘で ひとびとに話された
- ♪ 恵みのみことばを わたしにも聞かせてください

新型コロナウイルスの被害を覚えるお祈り

どうか、皆さんもお時間があるときにお祈りください

神戸国際大学の学生のための祈り

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な日々、孤独な状況、不安の中にあるすべての神戸国際大学の学生のみなさんのために祈ります。

どうか、彼ら彼女ら一人ひとりの心を支え、お守りください。そして私たちに、あなたの知恵と力が与えられ、今できることを考え、神さまのみ心になつた正しい行動を心がけることができますように。そして、共に心を合わせて、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈り、求め続けることができますようにお導きください。

このお祈りを、主イエスさまのみ名によっておささげいたします。アーメン

病に苦しむ人のための祈り

慈悲の父、慰めのもとである神よ、現在、新型コロナウイルスに感染し、痛みや苦しみ、不安や悲しみの中にある人のために献げる祈りをお聞きください。

どうか病で困難や不安の中にある人を憐れみ、み恵みによってその体と心を強め、病を癒してください。また、医師と看護する者たちを助け導き、その働きを支えてください。

そして、何もできずに不安と悲しみの中で苦しむご家族やご友人、また、私たちの心も神さま、あなたが愛によってお救いください。

主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

離れている大切な人を覚える祈り

愛なる神さま、あなたは、み手を伸べていつも私たちをお守りくださいます。どうか、遠く離れて暮らす家族や友人を様々な困難な状況からお守りください。

そしてこの不安定な世界において、必要な糧が与えられますように。心と体が守られ、健やかに日々を過ごすことができますように、どうかあなたがお支えください。

また、不安の中で医療に従事する人々のために祈ります。どうか一人ひとりの働きが祝福され、感染者の回復を助け、支える力をお与えください。そして彼らが感染から守られ、新型コロナウイルスの終息に向かうことができますように。

この小さなお祈りをイエスさまによってお願いいたします。アーメン

豪雨災害の被災者のための祈り

天地の造り主である主よ、あなたは苦しみ悩みのうちにある人びとを支えてくださいます。どうか今、全国各地での豪雨災害によって苦難のうちにある人びとを顧み、ふたたび立ち上がる力をさずけてください。また、わたしたちもこの人びとの悩み苦しみを祈りのうちに覚え、その痛みを少しでも共に担うことができますように。苦しむ人と共に歩んでくださる、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

神戸国際大学
キリスト教センターの
HPリンクはこちらまで

